

## 昆布あれこれ

佐藤佳代 1)

川嶋昭二先生の著書でえりもの「水産の館」を知った。展示室には昆布の標本が飾られ、生活史のパネルが展示されているという。昆布の採取から製品出荷に至る昆布漁業の様子や流通、利用面、漁場の磯掃除などの解説もあるらしい。

実際に海底を漂う昆布を見たことはないが、たまたま東京上野の国立博物館で昆布の標本数点を目にしたばかりだった。天井高く長大な昆布が伸びている。これを「水産の館」ではもっとたくさん見られるのだと思うと期待が膨らんだ。

昆布について知りたいと思った発端は、昆布という名称がアイヌ語からきていると聞いたことだった。「昆布」という漢字は全国のいたる所で目にするのに、何故だろうと思った。

昆布がとりわけ北海道特産であると知った時は驚いた。友人などに話してみると「へえーそうなんだ。」と感嘆した声が返ってきた。知らなかったのは私ばかりじゃなかった。

平安時代前期の『<sup>しよくにほんぎ</sup>続日本記』[697~797年完成]で、<sup>れいき</sup>霊亀元(715)年に「<sup>すがのきみこまひる</sup>蝦夷地の須賀君古麻比留が、先祖以来このかた、ずっと昆布を献上してきた」という意味の記録がされている。昆布は朝貢されている貴重品だったのだ。

昆布が全国的に流通するのに大きな役割をはたしたものに北前船の存在がある。春に阪神方面から荷を満載して日本海を北上し、途中の港で荷を売りながら、また新たな荷を買い集めて蝦夷地では干しニシンや昆布、塩鮭などの商品を積み、戻り途中の港や最終目的地の京阪神で少し高く売る、という商売船であったらしい。

生産地なのに道民はあまり昆布を食べないと言うことを新聞で読んだことがある。北海道では、昆布は食材というよりダシを取るものとのイメージが強い。本州との昆布に対する思い入れの違いを実感したのは、昆布に関することわざに北海道では馴染みがないものが多いことだった。

いくつかあったことわざのなかで一番吃驚したのは、『昆布に針を刺す』というのだった。誓いや呪いをかなえるために昆布に針を刺して井戸に沈めたり、昆布の人形を針・釘で木にとめたりすることをいうのだそうだ。こんなのもあった。『昆布を焼いて食べると天神様が泣く』。普通の調理法でない昆布の食べかたを嫌った俗説だという。

午前中に室蘭を出発し午後からえりもへ入ってみると、クレーンを積んだ小型トラックが海沿いの道を何台も走っているのを見た。これはユニックといい昆布漁の際に活躍するものだということの水産の館の写真パネルで初めて知った。具体的な説明と写真と標本で私の頭にもすんなりと昆布漁の様子が入ってきた。

たいへん運のいいことに学芸員の方(中岡さん)にお話も伺えた。知らない事柄が多すぎると何を聞いていいのか分からないものだが、展示物を見た後だったので、質問もしやすかった。

ここへ来る途中の風景のなかにあった、干されている昆布の長さが、展示されているのに比べて短いのではないかという質問をした。展示のものは一番成長のいい時期のもので、人間でいえば青年期のものである。秋期は胞子が放出される葉体の部分に栄養が移っていくために葉体の古い先端が枯れてく

1) 登別市在住 kayo-snow@oboe.ocn.ne.jp

るのだと教えていただいた。

秋頃になると昆布の先が溶けて千切れると漁師さんに聞いたことがあった。その理由が分かり、漁師さんのお話とパネルにあった昆布の生活史と自分が見て感じたことが一致することができた。

修士論文を作成するにあたり、室蘭、えりも、函館の昆布漁について比較し人間像を浮かびあがらせたいと思っていた。たまたま出会っただけなのに、あつかましくも中岡さんにえりものアンケートの配布、回収、聞き取りまでしていただき、本当に感謝しています。

相違点を見るために函館17名、室蘭6名、えりも11名の漁師に同じアンケートを実施した。アンケート内容は以下の通りである。

1. 何歳で独立しましたか。
2. 昆布漁はきつい仕事だと思いますか。(理由があったら書いてください)  
思　　う：理由  
　　思わない：理由
3. 出面さんを雇っていますか。雇っているなら何人？  
　　いる（　人）　　いない
4. 自分のところで作っている「出荷する昆布」に自信がありますか。
5. 昆布の質が変化したり、採れる量は変わっていますか。
6. 子供にも同じ仕事をつがせたいですか。  
（理由があったら書いてください）  
　　継　　が　　せ　　たい：理由  
　　継がせたくない：理由
7. 初代はどこから移住されましたか。
8. あなたは長男ですか。
9. あなたは何歳ですか。
10. 家族構成は男何人、女何人ですか（そのうち働き手は何人ですか）。  
　　男　　人（　人）、女　　人（　人）
11. 政治や国に期待することは？

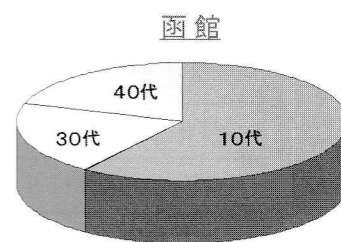
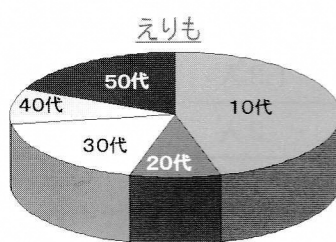
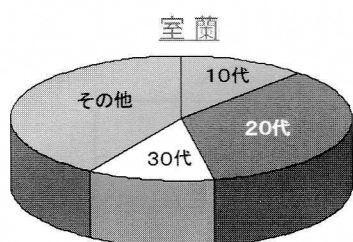


<アンケートの結果>

1. 何歳で独立しましたか？

	室 蘭	えりも	函 館
10代	2人	5人	4人
20代	6人	1人	—
30代	2人	2人	1人
40代	—	1人	1人
50代	—	2人	—
独立していない	2人	—	—
無回答	5人	—	—

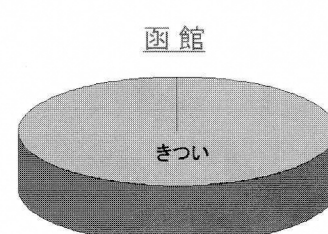
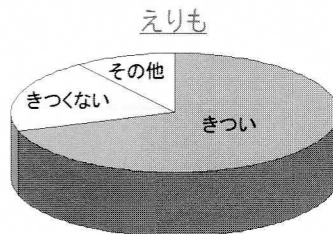
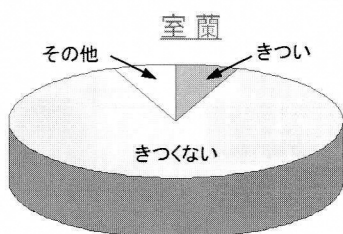
独立した年齢



2. 昆布漁はきつい仕事だと思いますか。

	室 蘭	えりも	函 館
思う	1人	8人	6人
思わない	15人	2人	—
お天気次第	—	1人	—
どちらともいえない	1人	—	—

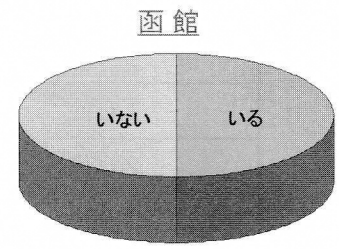
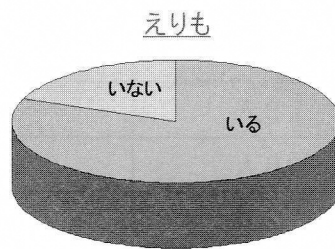
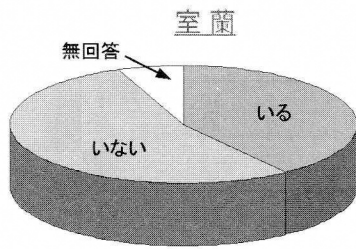
昆布漁はきつい仕事ですか



3. 出面さんを雇っていますか。

	室 蘭	えりも	函 館
いる	7人	9人	3人
いない	9人	2人	3人
無回答	1人	—	—

### 出面さんはいますか



4. 自分のところで作っている「出荷する昆布」に自信がありますか。

	室 蘭	えりも	函 館
ある	全員	全員	全員

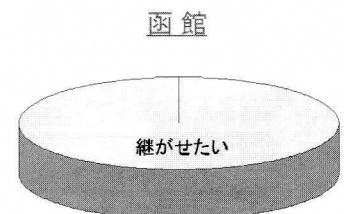
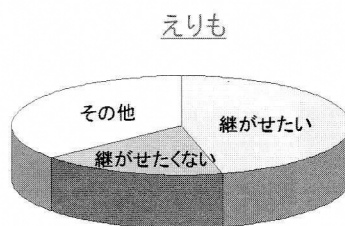
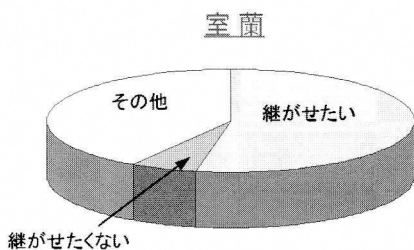
5. 昆布の質が変化したり、採れる量は変わっていますか。

	室 蘭	えりも	函 館
変化している	13人	11人	6人
変化していない	2人	—	—
分からない	1人	—	—
無回答	1人	—	—

6. 子供にも同じ仕事を継がせたいですか。

	室 蘭	えりも	函 館
継がせたい	9人	5人	6人
継がせたくない	1人	2人	—
本人次第	1人	3人	—
分からない	1人	—	—
どちらでもよい	1人	—	—
継ぐ人がいない	1人	1人	—
無回答	3人	—	—

### 子供に昆布漁を継がせたいですか

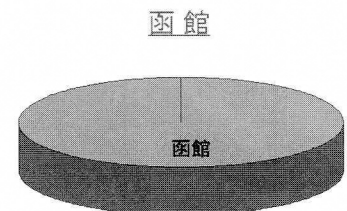
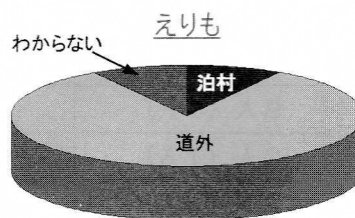
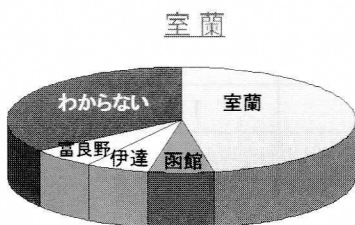




7. 初代はどこから移住されましたか。

	室 蘭	えりも	函 館
室蘭	8人	—	—
函館	1人	—	6人
伊達	1人	—	—
富良野	1人	—	—
泊村	—	1人	—
新潟	—	2人	—
福井	—	1人	—
富山	—	1人	—
秋田	—	1人	—
青森	—	1人	—
石川	—	1人	—
五所川原(東北)	—	1人	—
岩手	—	1人	—
分からない	—	1人	—
無回答	6人	—	—

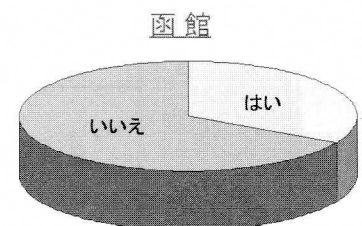
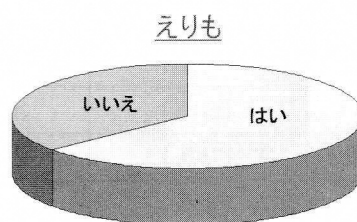
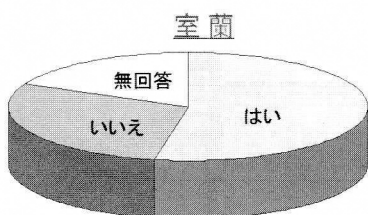
初代はどこから移住されましたか



8. あなたは長男ですか。

	室 蘭	えりも	函 館
はい	9人	7人	2人
いいえ	5人	4人	4人
無回答	3人	—	—

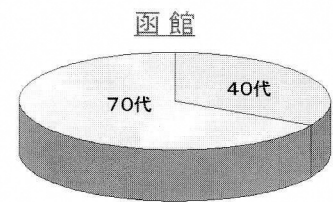
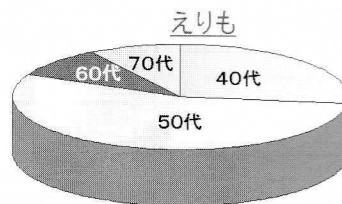
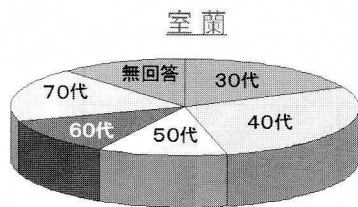
あなたは長男ですか



9. あなたは何歳ですか。

	室 蘭	えりも	函 館
30代	3人	—	—
40代	5人	3人	2人
50代	2人	6人	—
60代	2人	1人	—
70代	3人	1人	4人
無回答	2人	—	—

あなたは何歳ですか



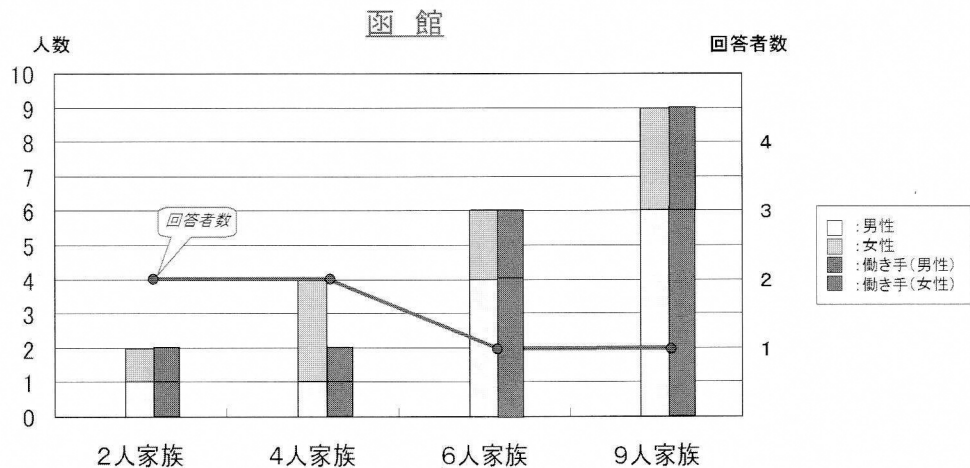
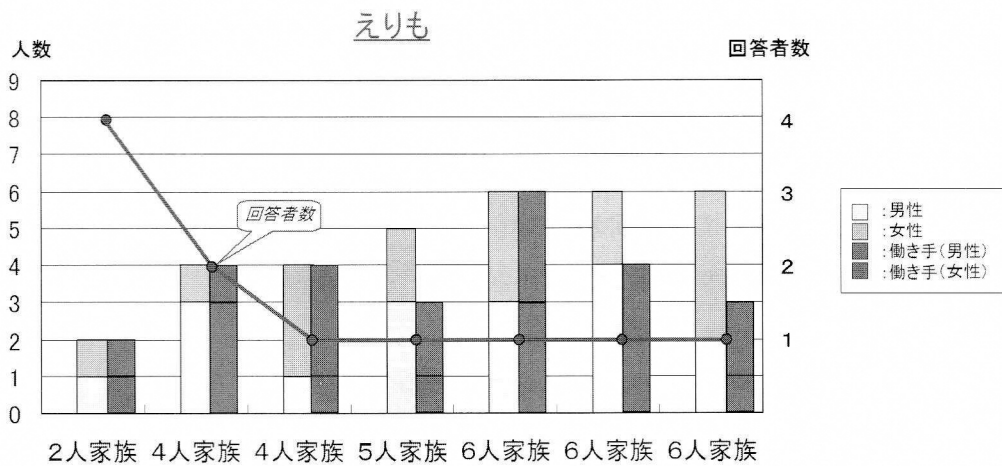
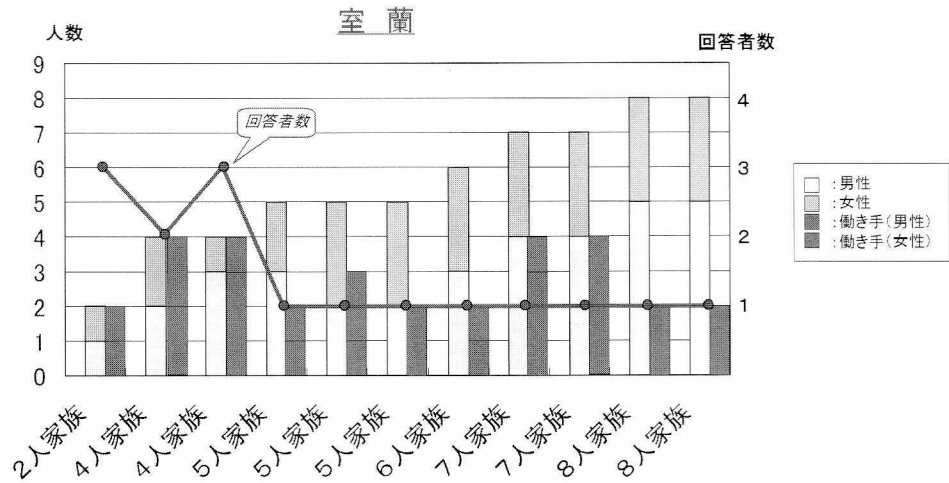
10. 家族構成は男何人、女何人ですか（そのうち働き手は何人ですか）。

	家族数	男 性 (働き手)	女 性 (働き手)	回答者数
室 蘭	2人家族	1人 (1人)	1人 (1人)	3人
	4人家族	2人 (2人)	2人 (2人)	2人
		3人 (3人)	1人 (1人)	3人
	5人家族	3人 (1人)	2人 (1人)	1人
		2人 (1人)	3人 (2人)	1人
		2人 (2人)	3人 (0人)	1人
	6人家族	3人 (1人)	3人 (1人)	1人
	7人家族	4人 (3人)	3人 (1人)	1人
		4人 (2人)	3人 (2人)	1人
	8人家族	5人 (3人)	3人 (0人)	1人
5人 (2人)		3人 (0人)	1人	

	家族数	男 性 (働き手)	女 性 (働き手)	回答者数
えりも	2人家族	1人 (1人)	1人 (1人)	4人
	4人家族	3人 (3人)	1人 (1人)	2人
		1人 (1人)	3人 (3人)	1人
	5人家族	3人 (1人)	2人 (2人)	1人
	6人家族	3人 (3人)	3人 (3人)	1人
		4人 (2人)	2人 (2人)	1人
2人 (1人)		4人 (2人)	1人	

	家族数	男性(働き手)	女性(働き手)	回答者数
函館	2人家族	1人(1人)	1人(1人)	2人
	4人家族	1人(1人)	3人(1人)	2人
	6人家族	4人(4人)	2人(2人)	1人
	9人家族	6人(6人)	3人(3人)	1人

家族構成





1 1. 政治や国に期待することは？

室蘭

- 安心して働ける環境づくり。漁業者としては、安心・安全な港がほしい。
- 自給率をあげること。
- 燃油価格の安定・魚価の安定。大漁貧乏にならない様な仕組み（仲買等）（保存方法等）

函館

- 31年間北洋漁業へ行っていた。（若い時は北洋へ）。
- 北洋漁業があれば良かった（若い時は北洋へ）。
- ・北洋漁業が再開できる政治を望んでいる（筆者注）。
- 燃料が高いのでとても続けられない。
- 石油、ガソリン、船の動力用が高い。漁業政策に期待する（北洋がなくなったから）
- 北洋があれば良かった。

えりも

- サケ獲って、昆布やってる漁師は金まわりがいい、広尾の漁師はサケ獲れば昆布が採れない、拾いもできない。資源管理。
- 期待するほどでもねーな、それより昆布の値段が安定してくれればいい。今、高くても必ず下がるからな～。
- 昆布の輸入量が心配だったけど、今は国産中心だから、あまり心配ない。昆布の値段が高ければいい。
- 都会優遇から地方優遇へ、食料自給率上昇のため。自国の国民を守る政策を。

アンケートの総括としては、

昆布漁を本業としていない室蘭の回答者には年齢層に幅があり若い人も多く、昆布漁に時間を割いていないため（昆布漁は副業になっている）、昆布漁はきつくないと答えている人が多く、えりも、函館のアンケート回答者と大幅な違いがあったこと。3地域とも家業である漁業を継がせたいというのが多いが、昆布漁を本業にしている函館とえりもでは、昆布漁だけで食べていくのは大変だという意見が多かった。昆布の出荷に際しては厳しい検査を通らなければならないので、全員が自分のところで作っている昆布に自信があることなどが分かりました。

最後に、この度の調査により生産者側の苦勞といったものが見えてきました。